



国民春闘共闘

2021年度 第4号
2020年12月2日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

年末一時金 第3回集計

単純平均 1.99 ヶ月 650,248 円、加重 565,124 円
昨年同期比 単純▲50,319 円・加重▲66,123 円(登録組合比較)

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は11月27日、2020年の年末一時金第3回集計を行い、23単産・部会から報告が寄せられました。

<回答引出し状況>

	2020年(全数)	2020年(登録)	19年同期(登録)
回答組合数	808	284	255
うち妥結組合数	168 (20.8%)	75 (26.4%)	60 (23.5%)

<回答内容> (月数および金額)

集計方法&対象		2020年 (全数)	2020年 (登録)	2019年 (登録) 同期	同期比
単純平均	月数	1.87	1.99	2.05	-0.06
	額(円)	567,308	650,248	700,567	-50,319
加重平均	額(円)	562,053	565,124	631,247	-66,123
	組合員数(人)	198,437	113,372	65,017	

<前年実績と比較可能な組合における単純平均額・月数の比較>

		組合数	うち前年実績以上	金額・月数	前年実績	(前年比)
単純平均	額(円)	316	147(46.1%)	596,041	650,764	-54,723
	月数	654	369(56.4%)	1.86	1.99	-0.13

<非正規の仲間の回答状況>

		非正規・時給制	非正規・月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	額(円)	55,111	58,258	59,456	115,725
	月数	0.913	1.412	1.135	1.448

* 額または月数のみの報告があるため、双方は連動しません。

＜集計結果の概要＞

回答引出し・妥結状況

2020年度 年末一時金の第3回集計には、総括表の25単産・部会から報告が寄せられ、808組合が回答を引き出しています。168組合から妥結報告があり、妥結率は20.8%となっています。昨年までの集計方式に合わせた登録組合（総括表別表参照）では、回答引出し組合は284組合が回答を引き出し、75組合が妥結しています（妥結率26.4%）。

全体の回答内容

月数回答のあった802組合での単純平均月数（一組合あたりの平均）は1.87か月となっています。また、金額回答のあった404組合での単純平均額は567,308円となっています。加重平均額（組合員一人あたりの平均）は562,053円となっています。

登録組合ベースでの回答内容（総括表別表参照）は、単純平均月数（287組合）が1.99か月で、前年同期（2.05か月）から0.06か月のマイナスとなっています。また、金額でも、650,248円（186組合単純平均）で、前年同期（700,567円）から50,319円のマイナスとなっています。加重平均（組合員1人あたり平均）は565,124円で、前年同期（631,247円）から66,123円のマイナスです。

新型コロナ禍の中、地域生協や出版などで、要求に対して満額回答を引き出す単組も生まれています。また、日本医労連、全印総連からも、新型コロナによる経営難は労働者の責任ではないと昨年並みの回答を示した経営者もいるとの報告が寄せられている一方で、製造業、医療、民放などで厳しい回答となっています。多くの組合が一時金の支給日ぎりぎりまで交渉を重ね、労働者の生活を守る取り組みをしています。

前年実績比較可能な組合での回答状況

金額回答で対比が可能な316組合での単純平均額の結果は596,041円で、前年実績を54,723円下回っています。316組合のうち、前年実績を超えた組合は137組合、同額となっている組合は9組合となっています。前年実績以上の回答を引き出した組合の割合は46.1%と奮闘しています。

また、月数で対比可能な654組合の単純平均月数では、1.86か月で前年実績を0.13か月下回っています。654組合のうち、前年実績を超えた組合は163組合、同月数を維持した組合は206組合となっていて、過半数の組合が前年実績を確保しています。

パートなど非正規の仲間の一時金

非正規ではたらく仲間の一時金獲得は、別表の9単産154組合から266件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、全農協労連、建交労、JMITU、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、映演労連、日本医労連から172件の獲得報告となっています。月数報告のあった132件の単純平均は0.913か月、金額報告のあった69件の単純平均は55,111円とな

っています。前年比較可能組合で見ると、前年実績を月数で 0.099 か月、金額では 17,332 円上回る結果となっています。

月給制労働者では、建交労、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、映演労連から獲得報告が寄せられています。月数の単純平均は 1.412 か月、金額で 58,258 円となっています。前年比較可能組合では、月数では前年実績を 0.174 か月上回り、額でも 41,223 円上回っています。

時給制の継続雇用者では、生協労連、全印総連から 10 件の引出し報告です。月数の単純平均で 1.135 か月、金額では 59,456 円となっています。

月給制の継続雇用者では、JMITU、生協労連、全印総連、出版労連から 15 件の獲得報告がありました。月数の単純平均で 1.448 か月、金額では 115,725 円となっています。

非正規労働者の一時金では、経営状況が著しく悪化している企業で引き下げ提案が行われていますが、多くの組合が同一労働同一賃金ルールの実施を梃子に改善を実現しており、全体としての水準も改善しています。